週刊　新社会　号外　2008 年 4 月　（1988 年 1 月 18 日第三種郵便物許可）

船橋市議会議員　（市民社会ネット）

浦田秀夫通信

2008 年 4 月 第 64 号
議会報告版

事務所　船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047-461-1350
自　宅　船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047-466-6019

緊急を要する学校の耐震改修

市長は市政執行方針の中で「誰もが安心して暮らし、次世代を担う子供たちが誇りを持てる船橋市をつくってまいりたい」「常に市民の皆様の視点に立ち、市民の皆様の声に謙虚に耳を傾け、誠実に政策を実行することに全力を注いでまいる所存であります」と述べたが、新年度市の予算が本当にそうした予算になっているのかという視点で質問し、耐震改修費の増額などを求める予算組み替え動議（3 面に掲載）を提出した。

23 校で倒壊の危険

質問　本年度までに、耐震診断を終了した学校の内、耐震改修が必要な学校数と改修に必要な費用はいくらか。また、耐震診断結果の公表に当たっては、父兄や子供達に不安を抱かせないよう、具体的な改修計画や改修が終わるまでの対策について、きちんとした方針を示すべきではないか。

答弁　構造耐震指標 0.4 未満（倒壊する危険が高く緊急を要する）の校舎は 23 校で改修費用は 50 億円程度、耐震補強工事の対象となる構造耐震指標 0.7 未満では 35 校で 224 億円程度。

父兄や子供達に不安を抱かせないよう、改修計画や改修が終わるまでの対策についてきちんと示すことは重要と考えている。当該校の現状を関係者に説明する。

保育園・児童ホームの耐震化促進も

質問　保育園や児童ホーム、消防署などの耐震化も緊急を要する。市の耐震改修促進計画（素案）では 23 年度まで概ね全ての施設の耐震性を把握し、危険性の高い施設を整備するとしているが、そのための予算が本年度計上されているのか。

答弁　今後、整備プログラムを作成するので今年度予算には計上していない。

耐震改修予算を増額せよ

質問　船橋市の耐震診断改修に伴う予算の総額は 4 億 6100 万円、習志野市でさえ 5 億 9670 万円、もっと予算を増やし、耐震診断・改修を急ぐべきではないか。

市長は昨年の 9 月議会でも「予算の許す範囲で」と答弁したが、市税収入を正確に見積もり、アンデルセン公園拡張事業の凍結や、法人市民税の制限税率課税、市民債の発行などによって、必要な財源を確保し、耐震改修予算を増額して再提出することを求めるが。

答弁　学校の耐震改修は特段の配慮をし、前年度額を上回る予算を計上しており、増額の再提出はできない。

新年度、古和釜中校舎などを改修

新年度予算では、小栗原小、高根台第三小、古和釜中で校舎を、若松小で体育館を改修。三山小、宮本小、葛飾中で校舎の耐震補強設計を行ない、芝山西小、七林小、三山中、坪井中で体育館の耐震補強設計を行なう。峰台小、湊町小、三咲小、南本町小、葛飾小、法典東小、豊富中、七林中、御滝中では体育館の耐震診断が行なわれる。予算総額は 4 億 6100 万円。